

平成28年12月 全国百貨店売上高概況

平成29年1月20日

I. 概況

1. 売上高総額	6,942億円余
2. 前年同月比	-1.7% (店舗数調整後/10か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	81社 234店 (平成28年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,903,199㎡ (前年同月比:-2.2%)
5. 総従業員数	74,189人 (前年同月比:-3.8%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	5-7月 -2.8%、6-8月 -2.9%、7-9月 -3.4%、 8-10月 -4.9%、9-11月 -3.7%、10-12月 -2.5%

[参考] 平成27年12月の売上高増減率は0.1% (店舗数調整後)

【特徴】

12月の売上高は前年同月比1.7%減で10か月連続のマイナス。顧客内訳としては、国内市場(シェア97.2%)が改善の傾向を見せながらも2.0%減に終わったのに対し、為替の影響もあり、インバウンド(シェア2.8%)が8.3%増(約192億円)で9か月ぶりに前年を上回り、単月としては2015年4月(約197億円)に続く過去2番目の売上を記録した。

地区別では3か月連続で18地区全てが前年割れし、10都市計が1.3%減、10都市以外計も2.5%減と共に振るわず。また、規模別でも全ての店舗規模が前年に届なかった。

商品別では、揃って前年割れが続いた主要5品目(衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品)のうち、雑貨が化粧品の増勢や、株高の効果が見えはじめた美術・宝飾・貴金属の回復などを背景に5か月ぶりに前年を確保した一方で、依然として勢いを欠く衣料品や、歳時記(クリスマスやおせち)需要は好調ながら、入店客数に連動した生鮮食品や、その他食料品が伸び悩んだ食料品が、前年を捉えることが出来なかった。

なお、平成28年の年間売上高は、既存店ベース(店舗数調整後)で2.9%減(5兆9,780億円)となり2年連続の前年割れ。インバウンドの年間は、購買客数が18.5%増(約297万人)と継続して拡大の傾向を見せており、売上高も5.3%減(約1,843億円)に留まった。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇低気圧が発達しながら日本付近を通過し、月降水量は東日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本太平洋側でも多かった。北日本では月平均気温は平年並みだったものの、気温の変動は大きかった。東日本以南では、月平均気温はかなり高く、22日には、東日本日本海側と西日本の各地で12月として記録的な高温となった。
- (2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 10日(// +1日/土曜1日増)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数133店舗)
①増加した:24店、②変化なし:32店、③減少した:77店
- (5) 12月歳時記(歳暮、クリスマス商戦、年末年始商材)の売上(同上/有効回答数100店舗)
①増加した:12店、②変化なし:63店、③減少した:25店

全国百貨店 売上高速報 2016年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後（ ）が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全国	694,254,905	100.0	-1.7 (-2.2)
10都市	475,820,630	68.5	-1.3
札幌	17,743,531	2.6	-1.5
仙台	9,818,549	1.4	-5.1
東京	181,650,789	26.2	-1.0
横浜	41,644,091	6.0	-2.4
名古屋	45,070,697	6.5	-1.3
京都	28,371,306	4.1	-0.8
大阪	92,757,835	13.4	-1.3
神戸	19,175,990	2.8	-1.4
広島	15,330,436	2.2	-2.2
福岡	24,257,406	3.5	-0.4
10都市以外の地区	218,434,275	31.5	-2.5 (-4.0)
北海道	2,172,571	0.3	-8.9 (-38.5)
東北	10,056,348	1.4	-3.2 (-3.7)
関東	97,521,742	14.0	-2.6 (-4.9)
中部	16,880,878	2.4	-3.6
近畿	29,458,044	4.2	-1.3
中国	15,230,677	2.2	-2.9
四国	11,532,258	1.7	-5.0
九州	35,581,757	5.1	-1.1

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	694,254,905	100.0	-1.7 (-2.2)
紳士服・洋品	44,532,871	6.4	-3.8 (-4.3)
婦人服・洋品	113,508,532	16.3	-2.4 (-2.9)
子供服・洋品	12,184,486	1.8	-3.6 (-4.1)
その他衣料品	12,599,392	1.8	-8.1 (-8.9)
衣 料 品	182,825,281	26.3	-3.3 (-3.8)
身のまわり品	88,971,197	12.8	-1.4 (-1.8)
化粧品	46,317,932	6.7	9.3 (8.8)
美術・宝飾・貴金属	41,068,151	5.9	-1.5 (-1.8)
その他雑貨	25,374,828	3.7	-4.1 (-4.9)
雑 貨	112,760,911	16.2	2.0 (1.5)
家具	6,668,257	1.0	-3.1 (-3.5)
家電	1,225,922	0.2	-16.2 (-16.3)
その他家庭用品	20,330,828	2.9	-5.1 (-5.6)
家 庭 用 品	28,225,007	4.1	-5.2 (-5.6)
生 鮮 食 品	50,686,063	7.3	-2.2 (-2.9)
菓 子	67,126,168	9.7	-0.7 (-1.2)
惣 菜	53,769,508	7.7	-1.2 (-1.6)
その他食料品	75,966,285	10.9	-2.9 (-3.4)
食 料 品	247,548,024	35.7	-1.8 (-2.3)
食 堂 喫 茶	15,050,009	2.2	-4.5 (-5.3)
サ ー ビ ス	5,816,045	0.8	0.0 (-1.6)
そ の 他	13,058,431	1.9	0.5 (0.4)
商 品 券	26,698,323	3.8	-7.5 (-7.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	-1.3% (10か月連続マイナス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-2.5% (店舗数調整後/14か月連続マイナス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-1.3	-0.9	10か月連続マイナス
札幌	-1.5	0.0	3か月連続マイナス
仙台	-5.1	-0.1	10か月連続マイナス
東京	-1.0	-0.3	5か月連続マイナス
横浜	-2.4	-0.1	12か月連続マイナス
名古屋	-1.3	-0.1	12か月連続マイナス
京都	-0.8	0.0	9か月連続マイナス
大阪	-1.3	-0.2	12か月連続マイナス
神戸	-1.4	0.0	5か月連続マイナス
広島	-2.2	0.0	3か月連続マイナス
福岡	-0.4	0.0	5か月連続マイナス
10都市以外の地区	-2.5	-0.8	14か月連続マイナス
北海道	-8.9	0.0	3か月連続マイナス*
東北	-3.2	0.0	14か月連続マイナス*
関東	-2.6	-0.4	19か月連続マイナス
中部	-3.6	-0.1	10か月連続マイナス
近畿	-1.3	-0.1	5か月連続マイナス
中国	-2.9	-0.1	5か月連続マイナス*
四国	-5.0	-0.1	10か月連続マイナス
九州	-1.1	-0.1	5か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が5か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が14か月連続、身のまわり品が5か月連続、家庭用品が12か月連続、食料品が10か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が21か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.7	—	10か月連続マイナス
紳士服・洋品	-3.8	-0.3	5か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.4	-0.4	14か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.6	-0.1	8か月連続マイナス
その他衣料品	-8.1	-0.2	14か月連続マイナス
衣料品	-3.3	-0.9	14か月連続マイナス
身のまわり品	-1.4	-0.2	5か月連続マイナス
化粧品	9.3	0.6	21か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-1.5	-0.1	10か月連続マイナス*
その他雑貨	-4.1	-0.2	5か月連続マイナス*
雑貨	2.0	0.3	5か月ぶりプラス
家具	-3.1	0.0	10か月連続マイナス
家電	-16.2	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-5.1	-0.2	9か月連続マイナス
家庭用品	-5.2	-0.2	12か月連続マイナス
生鮮食品	-2.2	-0.2	33か月連続マイナス*
菓子	-0.7	-0.1	5か月連続マイナス*
惣菜	-1.2	-0.1	5か月連続マイナス*
その他食料品	-2.9	-0.3	3か月連続マイナス*
食料品	-1.8	-0.6	10か月連続マイナス
食堂喫茶	-4.5	-0.1	14か月連続マイナス
サービス	+0.0	0.0	2か月ぶりプラス
その他	0.5	0.0	3か月連続プラス
商品券	-7.5	-0.3	70か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

全国百貨店 売上高速報 2016年1月～2016年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	5,978,013,630	100.0	-2.9 (-3.2)
10都市	4,061,341,515	67.9	-2.5
札幌	152,560,259	2.6	-1.5
仙台	83,078,276	1.4	-3.7
東京	1,601,384,753	26.8	-1.8
横浜	355,262,008	5.9	-2.8
名古屋	379,424,332	6.3	-3.3
京都	243,578,072	4.1	-2.2
大阪	759,496,380	12.7	-3.7
神戸	156,163,119	2.6	-3.2
広島	129,252,664	2.2	-1.5
福岡	201,141,652	3.4	-1.9
10都市以外の地区	1,916,672,115	32.1	-3.7 (-4.6)
北海道	28,461,641	0.5	0.8 (-8.6)
東北	95,732,382	1.6	-2.7 (-3.2)
関東	869,355,577	14.5	-4.5 (-5.7)
中部	144,560,962	2.4	-4.1
近畿	257,240,446	4.3	-3.0
中国	135,518,232	2.3	-2.8
四国	98,214,259	1.6	-4.6
九州	287,588,616	4.8	-2.8 (-3.9)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	5,978,013,630	100.0	-2.9 (-3.2)
紳士服・洋品	400,322,057	6.7	-5.3 (-5.6)
婦人服・洋品	1,212,245,967	20.3	-6.3 (-6.6)
子供服・洋品	144,501,167	2.4	-3.9 (-4.2)
その他衣料品	136,237,302	2.3	-5.0 (-5.6)
衣 料 品	1,893,306,493	31.7	-5.8 (-6.1)
身のまわり品	779,934,052	13.0	-3.6 (-3.9)
化粧品	439,021,790	7.3	9.6 (9.3)
美術・宝飾・貴金属	337,395,927	5.6	-5.8 (-6.0)
その他雑貨	229,647,101	3.8	-3.6 (-4.2)
雑 貨	1,006,064,818	16.8	0.9 (0.6)
家 具	66,719,086	1.1	-7.8 (-8.1)
家 電	16,649,664	0.3	-5.3 (-5.3)
その他家庭用品	187,878,073	3.1	-4.2 (-4.5)
家 庭 用 品	271,246,823	4.5	-5.2 (-5.4)
生 鮮 食 品	333,584,069	5.6	-2.7 (-3.1)
菓 子	464,004,997	7.8	-0.3 (-0.6)
惣 菜	367,498,334	6.1	-0.8 (-1.0)
その他食料品	513,741,777	8.6	-0.8 (-1.1)
食 料 品	1,678,829,177	28.1	-1.0 (-1.3)
食 堂 喫 茶	162,891,031	2.7	-4.9 (-5.4)
サ ー ビ ス	63,632,307	1.1	-2.8 (-3.4)
そ の 他	122,108,929	2.0	2.5 (2.4)
商 品 券	162,758,460	2.7	-7.1 (-7.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>